

第 11 回 清瀬市地域公共交通会議 会議録

[日時] 平成 29 年 8 月 23 日 (水)
午前 10 時から正午

[場所] 清瀬市消費生活センター3 階 グループ活動室

[出席者] 委員 国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官(欠席)
東村山警察署交通課長
北多摩北部建設事務所長管理課長
一般社団法人東京バス協会乗合業務担当課長(欠席)
西武バス労働組合執行委員長
西武バス経営企画室長
一般公募による市民(3 名)
清瀬市都市整備部長
事務局 清瀬市都市整備部道路交通課

[議題] 1. 市民アンケートの結果について
2. 車両の買換え及び IC の導入について
3. 交通空白地域の解消について

[提示資料等] 会議資料No.1 から 9 まで

[議事内容]

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

《1. 市民アンケートの結果について》

(事務局)

- ・市民アンケート実施の経緯及び概要(資料No.1)
 - ・市民アンケートの内容 (資料No.2)
 - ・市民アンケート集計結果 (資料No.3)
- (各委員の意見)
- ・現状の外出・交通の環境で困っている事が「特に無い」という回答が最も多く、現状の公共交通に関して一定の満足は得られている。
 - ・交通施策実施の為の財政負担は支持を得られている。
 - ・アンケート結果は基礎資料として、今後活用していくべきである。

《2. 車両買換えと IC 導入について》

(事務局)

- ・コミュニティバス車両の概況(資料No.4)
 - ・他自治体の車両買換え事例 (資料No.5)
- (各委員の意見)
- ・車両の耐用年数を鑑み、買換えの具体的な計画を策定すべきである。

- ・ IC は車両買換えと同時に進行事が望ましい。

《3. 交通空白地域解消について》

(事務局の提案)

- ・ 下宿地区の概況(資料No.6)
- ・ 交通不便解消案(資料No.7)
- ・ 路線延伸案 (資料No.8)
- ・ デマンドタクシーの試算 (資料No.9)

(各委員の意見)

- ・ 将来的には、新座市の区画整理事業と併せて路線バスの延伸がされるよう、働きかけていくべきである。
- ・ 当座は、新座市のコミュニティバス路線への停留所設置に向けた働きかけや、可能な範囲での路線バスの延伸等に対応すべきである。
- ・ デマンドタクシーは現実的でなく、方策として妥当でない。

《4. まとめ》

- ・ 現状の公共交通の環境は、市民から一定の満足、理解を得られている。
- ・ 車両買換えは耐用年数を見極めながら、計画を策定し IC の導入と同時に確実に進行すべきである。
- ・ 下宿等の交通空白地域の解消は、長期的には新座駅までの路線バスの延伸を見据えつつ、当面は「にいバス」への停留所の設置へに向けた働きかけ等に対応すべきである。